

川崎横浜支部例会 報告

日時 : 2020年10月4日 16:00~18:00 zoomにて

参加者 : 30名

MYさんの報告『新型コロナウイルスから社会を見る総合学習の取り組み』

●本報告の目的と問題関心

新型コロナウイルスの総合学習を通して、休校などの中で生徒たちの社会への目はどのように変化したか、また、現在社会、社会の動きについてどう感じているか。週2回の総合学習のなかでの取り組みについて報告。

報告者の問題関心は、①生徒が生き生きと参加していた。面倒くさそうでなく楽しそうだったのはなぜか。

②生徒の発表姿勢、プレゼンがすごくよかったのはなぜか。③総合学習を通して、生徒の社会をとらえる視点はどのように変化したのか。

●総合学習の取り組み

(1) 学校において総合学習の位置づけは、INT(インテグレーション)の時間として6か年の取り組みをしている。中学1年生は都道府県調べ、中学2年生は「働く」とは。中学3年生は進路で、今年はコロナについても学習している。

(2) 中学3年生の総合学習の位置づけ。

①2020年3月から休校・春休みとなり、3月に一日登校日を設けた。せっかくだから調べ学習をやろうと学年主任が提起し、学年担任全員が一致、取り組むことになった。課題は「なんでもいい」、ただし情報源は信用のおけるものを使うよう指示した。生徒はよく課題に取り組んだ。

②4月は郵送課題、5月にオンライン授業がスタートした。その後段階的に登校を開始。休校期間中の学年会議の中で、社会的な関心を広めたいと学年担任団が一致した。そこでコロナウイルスについての調べ学習とグループ発表を1学期間に取り組むことを決定。

それと連動する形で、オンライン交流会の企画をした。学校内だけでなく、開かれた交流をしたいと考えたからだ。他校の生徒と意見交換したり交流したりすることは自分たちの学習に生きてくるだろう、他の生徒にも意義があるだろう、と判断した。参加は、K学園・S学園・R校・K学園・S校(報告者の勤務校)の5校。中学3年生に5月中にオンラインで参加を募り、9名の生徒が参加することになった。

③6月・7月に学校が再開され、総合学習も開始された。

- ・休校中のレポート課題の中から、経済・差別、ウィルスについてなど、優れていた代表生徒9名が学年全体の前で発表。(2時間)
- ・生徒の課題意識をもとに今回の報告者が1時間授業し、テーマ案の提示をし、関心のあるテーマのアンケートを行った。(2時間)…授業は、新型コロナによって、顕在化し

ていなかったことが社会問題として明らかになってきたという内容。ちょうどこの時に Black Lives Matter の運動も盛り上がり、学年教員団も盛り上がった。

- アンケートをもとに 9 グループ（1 グループ 4～5 人）に分かれて調べ学習・原稿のまとめを行った。
- プレゼン作成・発表準備（4 時間）
- その後学年全体で発表会（2 時間）を行い、8 月初めの終業式で表彰式をした。

*1 位になった生徒たちへのインタビューより

Q1. コロナの学習の前に社会に対する関心があったか？

→A1：コロナについて関心があった。

A2：身近でなかったので関心はなかった。

Q2. コロナウィルスについて、グループで調べると聞いたときどう思ったか？

→A（全員）：嬉しかった。

Q3. 実際にグループで調べてよかったことや大変だったことは？

→A1：一人の人が抱えこみすぎた。

A2：いろんな意見が聞けて楽しかった。

Q4. 企業の UP・DOWN について調べたが、発表を終えて、ニュースを見る視点に変化があったか？

→A（全員）：身近に感じることができるようになった。

● 取り組みを終えて

①生徒は今回の取り組みをどう考えているのか、社会への視点は変化したのか？

→自分にかかわるものとして感じられるようになったとか、社会に対する関心が向くようになったなど、ポジティブな反応で面白いと思った。

②調べ学習・グループ活動を通して、生徒の視点の深まり、コロナウィルスが社会に及ぼす影響、という観点からのまとめ

③学年集団の社会的関心、プレゼン作成のノウハウ

④今後どのように今回の活動を発展できるか、生徒たちの世界をどう広げていけるか。

質問・意見・自由発言

• この例会では最近「感染症のことを考えよう」を取り組んでいて、前々回はスペインインフルエンザ、前回の例会ではハンセン病について考えた。今回中学3年の人が社会の変化に自分も変化すると気づいたことがよくわかった報告だった。

• 例会に生徒がたくさん参加してくれたので、新鮮でわくわくした。

—Q1—学習してから2か月たって世の中が変わった。内閣が変わり、Go TO TRAVEL

が始まり、トランプ大統領がコロナに感染したなど、そのことについて変化があれば聞きたい。

- 今年から教員になった。コロナ禍で人が社会にどう向き合っていくのか、いい機会になったと思う。そういうものは風化していく。例えば東日本大震災は10年がたち風化しつつある。後世につないでいく必要がある。

—Q2—休校が明けて数か月たったが、改めて社会や学校生活への思いを聞きたい。

- 休校中感じたのは当たり前、いや当たり前だったものが大切なものの思えてきた。久しぶりに登校出来てすごく嬉しかった。大切なものほど大切にしたいと思った。休校が明けて、いつ自分の身に何が起こってもおかしくないんだと思うようになった。例えば、トランプ大統領も感染したこと。コロナによって色々感じ、成長もできた。いろんなことに興味を持つようになった。
- 休校が明けて、昼ご飯をみんなで食べられるようになったのに前を向いてとのことに残念に思った。内閣が変わり、トランプ大統領が感染し、コロナで世界は大きく変わったと思った。

—Q3—今回の出来事は公民の教科書に載ることだ。コロナの前に授業で学んでいることが、生活や社会に直結すると思ったことがあるか？（社会科以外でも）

—Q4—他教科も含めて生活や社会に繋がってきたと思うようになったか？

—Q5—キリスト教を週1回やっている学校だから、高校では世界史をどう取り組んでいるか？

- 中学1年で世界史を学び、好きでも得意でもないが、昼休みに学ぶ意味を聞いた事がある。「学ばないと人類は同じ過ちを繰り返す」と先生が答えてくれた。先ほど誰かが言っていたことだが、風化してしまったり、二度過ちを繰り返すと思った。自分も世界史の中にいると思う。
- 世界史なんかでキリスト教などを学ぶとき、この学校のことを学んでいるんだよと先生に言われ、面白いと思って授業を聞いた。
- 公民で選挙やっているが、自分が知らなかったことを知ることができた。「聖書」を読むことで今まで自分が考えたことがないことを考えられるようになった。
- 週一回「聖書」の授業がある。プロテスタント系のことが出ると自校のことも教えている。高校生では世界史をやっている。キリストは本当にいるのかとか、聖書の言っていることは本当かと聞いてくる生徒もいる。教員の返し方はいろいろで、悩ましいところだ。
- 「聖書」でモーセが人を助ける話の時、M先生が「この話は本当にあったかもよ」と、紅海の干満のことも絡めて話してくれて、身近に思う。いろんな教科の先生がいろんな場面で学ばせてくれる。自分たちの学校について先生たちが教えてくれることが嬉しい。
- キリスト教と結びつけていろんな先生が学校のコアを話してくれるのがいい。他校でも、

「うちは平和…」 「うちは環境…」 ということもできる。学校としてのはっきりしたメッセージが有り、嬉しく思う。

- 昔の人も同じで、不合理な事や感染症のことも、「聖書」にあるかもしれない。学んだことを記録することは大事。
- M先生の授業の進め方、ステップアップがあったから生徒も取り組めたと思う。

—Q6—他校とのオンラインの様子や生徒の感想を知りたい。

—Q7—4人はなぜ自分とは遠いような経済というテーマを調べようと思ったのか？

—Q8—中高生のみなさんの最近のニュースや事件で気になっているものはあるか。今の勤務校で最近のニュースと結びつけて問うても答えは出てこず、生徒の関心が現代社会に対して薄いので…。

- オンライン交流会は5校でやっている。A~Dグループに分かれて、それぞれのグループでテーマ別にやっている。私はAでコロナで困っていること、特に受験生のことを調べている。アンケート実施中で、すでに100人に答えてもらっている。オンライン交流に参加して、受験生の声を具体的に書いてもらい、解らないことが当事者に聞いて分かった。

—Q9—勤務校で生徒会の規則改正に取り組んでいる。昼食の時間についてコロナウィルスに対する警戒の問題で、本校ではあまり身近ではないので、コロナウィルスの対策について聞きたい。

- 気になるニュース。たびたび誹謗中傷で亡くなる芸能人が出て、コロナウィルスで気持ちが内向きになっているので自殺などに至るのではないかと思った。
- 短期間で素晴らしい実践の報告を受けた。日頃の多彩な先生たちによる授業作りの雰囲気があり、学校の在り方について考えさせられた。コロナ禍で今世界が作られている授業報告で面白かった。

—Q10—その中でアジアについて国内の子どもたちや医療はどうか、考えるチャンスになったか？

- 企業と人のつながりの視点での発表はすごいなと思った。人のつながりそのものが学校という空間、教育機関という空間だ。

—Q11—実際、人とつながる目の前にいる人と会うのが不可能になったコロナ禍で、これがしんどいと思ったことは？ 自分自身は、一度もあった事のない生徒の成績を付けるのはしんどかった。

- 小耳にはさんだニュースで衝撃的だったのは、トランプ大統領の感染だった。1学期に世界恐慌のことを学んだ。世界恐慌とコロナウィルスは似ている。一つの国から世界へというのが世界恐慌の（学習の）時は考えなかった。「コロナ」を経て新しい世界になっているのを日本にいて経験できるのは素晴らしい。食堂で食事を対面でできるけれど、フェイスシールドで友達の声が聞けなかったり、マスクをして階段を上るのはきつい。

- オンライン交流会にKさんと参加した。障がい者について調べている。近くにある特別支援学校の先生にインタビューのお願いの電話をして緊張した。コロナだから初めての、顔も知らない人に電話したが、先生にフォローしてもらったからできた。電話したことにより、人として成長できてきた。交流会に参加してから積極的になれたこと、いろんなことを経験できた。人と関わるという点では、ハイタッチもできないし、ご飯も…。でも、新しい関わり方を学べた。海外・オーストラリアの人と週2回電話で話をしている。イギリスのジョンソン首相が入院したから、トランプ大統領も…。いろんな国によって感じるものが違うとわかった。新しい関わり方を教えてくれたのもコロナだと思った。
- この学習を経て、他の人のことをどう思ったか、など具体的にわかっていなかったので、これからもその点を考えながら取り組んでいきたい。
- (オンラインだから)北九州と神奈川、「コロナ」だから共有できた。S校は学んでいるなと思った。自分の学びについて刺激を受けたと思う。
- 今日の報告を聞いて、中3とは思えないレベルの高い発表だった。また、この例会での発表でもしっかり学習した成果が発揮できていると思った。